

令和5年9月発行

第200号
発行所

水戸市農業委員会事務局
水戸市中央1丁目4番1号
☎ 224-1111(内線 6412)

年4回発行

水戸市農業委員会だより



農業委員会が新体制で スタートしました

7月20日(木)に農業委員辞令交付式が開かれ、新農業委員全員が出席しました。代表の浅井紘一委員が高橋市長より辞令を交付されました。

同日には、農業委員の任命後初となる総会を開催。会長と会長代理の互選が行われ、会長に笹沼恭一会長が選任されるとともに、会長代理に皆川晃委員と大圖金雄委員が選任されました。その後、各委員の所属地区対策班及び各対策班の班長と副班長も決定しました。東部地区対策班の班長に軍地美代委員、副班長に飛田信広委員、中部地区対策班の班長に加倉井幸夫委員、副班長に安藏久男委員、西部地区対策班の班長に関成一委員、副班長に吉澤勇委員が選任されました。

8月10日(木)には、農地利用最適化推進委員の辞令交付式と農業委員・推進委員活動研修会が行われました。研修には茨城県農業会議の小泉勝浩氏をお招きし、農業における課題や農業委員会の活動についての理解を深めました。(上写真)

新しい農業委員と農地利用最適化推進委員の詳細は、本紙の次頁に写真付きで掲載しておりますのでご覧ください。

会長就任あいさつ

水戸市農業委員会会長 笹沼恭一



笹沼恭一 新会長

第1回総会において、委員の皆様からご推挙を頂き会長に就任いたしました。私はこれまで、

農業委員として39年活動してまいりました。農業委員会が発足したのが昭和26年で丁度私が生まれた年であります。そこから現在まで続く、永い歴史を持つ組織の会長に就任することの責務の重大さを痛感しております。

現在、農業はさまざまな課題を抱えています。特に、今年の4月1日から農地取得の要件のうち下限面積要件が廃止されました。小面積での農業参加がしやすくなるメリットがある一方で、守るべき農地が失われないようにしていかなければなりません。農業委員会全員が一致団結し、様々な視点からしっかりと

見極めを行い、水戸市の農業を守っていく所存であります。また、「人・農地プラン」は「地域計画」という名称にかわりました。これからの農業のためにも、「地域計画」の実質化や実践支援などは地域に軸足を置く、重要な活動であります。我々も農業委員会の役割を再認識し、本市農業・農村の振興を図ってまいります。

農家の皆様方におかれましても、より一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

目次

- 農業委員会が新体制でスタートしました……(1頁)
- 会長就任あいさつ……(1頁)
- 新しい農業委員及び農地利用最適化推進委員を紹介します……(2、3頁)
- 農業ヘルパーについて……(4頁)
- 農業委員会活動報告……(4頁)
- 農業者年金に加入しませんか……(4頁)
- お世話になりました……(4頁)
- 編集後記……(4頁)

最適化推進委員を紹介します

8年7月19日までの3年間です。

農地利用最適化推進委員



矢崎 雅昭
【吉田地区】



荘司 良一
【緑岡地区】



安藏 良純
【渡里地区】



鈴木 正明
【柳河地区】



石川 昭
【国田地区】



根本 衛
【国田地区】



小田木 孝之
【飯富地区】

東部地区

農業委員



軍地 美代
【上大野地区】



安 邦弘
【酒門地区】



雨貝 裕
【下大野地区】



高橋 基
【下大野地区】



市村 正司
【稲荷地区】



飛田 信広
【大場地区】



渡邊 京子
【大場地区】



横須賀 洋治
【上大野地区】



内藤 博
【酒門地区】



栢内 孝允
【下大野地区】



飛田 義勝
【下大野地区】



木村 進
【稲荷地区】



入野 善保
【大場地区】

農地利用最適化推進委員

東部地区

区域

新しい農業委員及び農地利用

任期は令和5年7月20日から令和

中部地区

農業委員



皆川 晃
【吉田地区】



笹沼 恭一
【緑岡地区】



安藏 久男
【渡里地区】



今関 征一
【柳河地区】



高安 幸一
【国田地区】



一木 克昭
【国田地区】



加倉井 幸夫
【飯富地区】



松橋 裕子
【中立】

西部地区

農業委員



関 成一
【河和田地区】



雨谷 克己
【上中妻地区】



吉澤 勇
【山根地区】



浅井 紘一
【鯉淵地区】



深谷 泉
【鯉淵地区】



外岡 健寿
【下中妻地区】



大圖 金雄
【中妻地区】



岡田 幸一
【中妻地区】



小松崎 陽子
【広域団体】

農地利用最適化推進委員



吉原 孝則
【河和田地区】



七字 倫範
【上中妻地区】



大津 文隆
【山根地区】



藤枝 保
【鯉淵地区】



佐川 則夫
【鯉淵地区】



谷萩 功
【下中妻地区】



森田 宏信
【中妻地区】



水戸市

農業ヘルパーについて

農業ヘルパーセンターでは農家を支援するため、ハローワークと連携しながら補助労働力を必要とする農家にヘルパーを紹介しております。

労力が不足がちな繁忙期などにヘルパーの臨時雇用を考えている農家の方は農業公社内ヘルパーセンターにご相談ください。なお、農家の要望に応えるため、水戸市ふるさと農場においてヘルパーの農業実技研修会を実施しております。

《お問い合わせ》

一般財団法人水戸市農業公社内

農業ヘルパーセンター

☎251・5532



▶ふるさと農場での研修の様子

農業委員会活動報告 4月～8月

4月

5日(水)

第33回運営委員会

13日(木)

第34回総会

農地利用最適化推進協議会

5月

2日(火)

第34回運営委員会

12日(金)

第35回総会

農地利用最適化推進協議会

6月

5日(月)

第35回運営委員会

12日(月)

第36回総会

農地利用最適化推進協議会

7月

5日(水)

第36回運営委員会

13日(木)

第37回総会

農地利用最適化推進協議会

20日(木)

農業委員辞令交付式
第1回総会

8月

4日(金)

第1回運営委員会

新任農業委員研修会

10日(木)

第2回総会

農地利用最適化推進委員辞令交付式

農業委員・推進委員活動研修会

会・新任農地利用最適化推進委員研修会

17日(木)

農地パトロール現地研修会

農業者年金に加入しませんか

農業者年金は、農業者がより豊かな生活を過ごせるよう、国民年金に上乘せした任意加入の公的な年金制度です。農業に従事する方は広く加入でき、一定の要件を満たす方には、保険料の国庫助成があります。詳細は、農業委員会事務局農政係までお問い合わせください。

《お問い合わせ》

農業委員会事務局 農政係

☎224・1111

(内線6422)



お世話になりました

当市の農業行政にご尽力いただいた5名の農業委員及び4名の農地利用最適化推進委員がこの度勇退されました。

今後ともご健康に留意されますことをお祈り申し上げます。



【農業委員】

江橋 健男 (下大野)

小島 雄一 (下中妻)

皆川 重文 (酒門)

立原 清子 (広域団体)

伊藤 明美 (中立)

飛田 克己 (下大野)

木村 好美 (稲荷)

高橋 清 (大場)

栗野 節夫 (鯉淵)

【農地利用最適化推進委員】

飛田 克己 (下大野)

木村 好美 (稲荷)

高橋 清 (大場)

栗野 節夫 (鯉淵)

編集後記

3年に一度の改選により、当委員会は新体制でスタートしました。新委員の任命に伴い、編集委員が左表のとおり決定いたしました。

本紙「水戸市農業委員会だより」は農業委員会と農家の「かけ橋」となる会報として、年4回発行しています。おかげさまで発行回数200回を迎えることができました。

皆様のお役に立つ会報となるよう、編集委員一同、より一層努力してまいります。農家の皆様におかれましては、ご支援・ご協力をお願いいたします。

編集委員長	笹沼 恭一
編集委員長代理	皆川 晃
編集委員	大圖 金雄
〃	軍地 美代
〃	加倉井 幸夫
〃	関 成一
〃	飛田 信弘
〃	安藏 久男
〃	吉澤 勇

